12 December 2014
第728号
平成26年12月１日発行
（毎月１日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA



【特集】さめがわの子育て

子どもの夢を育てる

【特集】さめがわの子育て

子どもの夢を育てる



僕は世界で活躍できる
野球選手になりたい
私は歌手になって、
たくさんの歌を届けたい

子どもには夢があります
希望があります
未来があります

元気な子どもを見ていると
勇気が湧いてきます
やさしい子どもに出会うと
心が和みます
子どもはふるさとのタカラです
未来をつくるふるさとのチカラです

子どもの心を育てることは、
鮫川の心を育てること
子どもの夢を育てることは、
鮫川の夢を育てること

だからみんなで考えましょう
鮫川で産み、育てること



現状

少子化が止まらない

一人の女性が生涯に産む子どもは1・43人

少子化時代、子どもと触れ合う時間まで減っている

子どもが減った

「ただいま」

ランドセルを下ろした子どもたちは、すぐさま友達と遊びに出掛けます。

「暗くならないうちに帰ってくるんだよ」

優しく見守る祖父母たち。昭和の時代、村中で見られた放課後の光景です。

しかし、近年、核家族化が進み、帰宅しても家には誰もいない、という家庭が増えています。村営住宅などの一部を除けば、近所に同年代の子どもがいないという児童も多く、友達と一緒に遊んだり、集団で登下校したりすることができない地域も増えているのです。

学校が統合し、スクールバスで通う児童や生徒が増えました。バスの乗り降りは自宅前。以前は、朝夕顔を合わせていた地域の人たちからも、「最近、子どもを見かけなくなった」「何年生になったかわからない」などの声が聞かれます。

村体育協会の大橋邦次会長（68）＝富田字前沼＝は「村民駅伝競走大会の選手を集めるのも一苦労。少子化は、地域の活力をも奪う大きな課題」と危機感を募らせます。

希少価値という言葉を引用すれば、現代は、子どもの存在

学校では笑顔いっぱいの子どもたちも、家に帰ると誰もいないケースが少なくない（鮫川小学校）





パパ**小林利之**さん(29) 西山字水口
ママ**真理**さん(28)、ボク**楓**君(1歳2カ月)

VOICE **楓、生まれてきてくれてありがとう**

子どもを授かったと知ったときは、うれしい反面、不安でいっぱいでした。でも、生まれてきたらかわいくて仕方ありません。笑ったり、怒ったり、泣いたり、楓の全てがいとおしく、日々の成長に幸せを感じます。楓をだっこする祖父母の幸せそうな顔を見ると、またうれしくなって、生まれてきてくれたことに感謝します。低体重児だったので、健やかな成長が一番の願いです。誰からも愛される優しい子になってほしいです。

Kobayashi Toshiyuki,Mari,Kaede



「少子化は地域全体の課題」と村体育協会の大橋邦次会長

そのものが価値であり、地域の「宝」なのです。

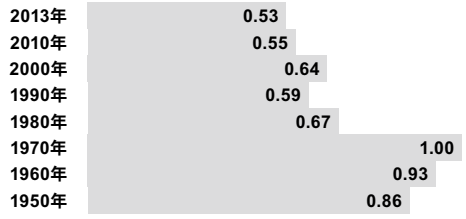
生まれる子は年30人

日本の出生数は、第2次ベビーブーム(1971～74年)の200万人をピークに75年以降は、緩やかな減少を続けています。

本村も例外ではなく、出生数は05年以降、毎年30人前後で推移しています(グラフ2)。

【グラフ1】婚姻率の推移

資料：厚生労働省「人口動態統計」



2013年の日本国内の婚姻数は66万3,000件で婚姻率は0.53%。1,000人に5.3人が結婚したことになる。団塊の世代が結婚した1970年前後の第2次結婚ブームの約半分だ

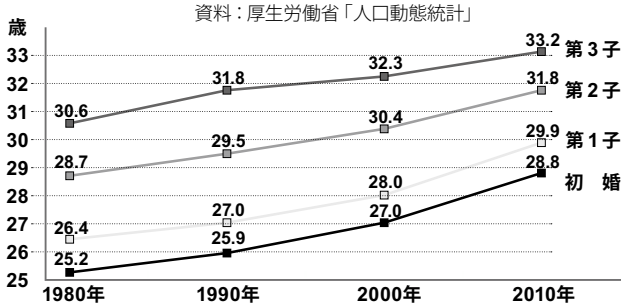
1人の女性が生涯に産む子どもの数を表す2013年の合計特殊出生率(*1)は1・43人(グラフ2)。つまり、1人か2人です。少子化は婚姻数(グラフ1)と大きく関係しており、未婚化、晩婚化、晩産化などが大きな要因といわれています。そのほか、離職や子育てに対する不安などもあるようです。

これまで国は、仕事と子育ての両立を目指して、子どもを産み、育てやすい環境づくりに力を入れてきました。94年の「エンゼルプラン」を皮切りに、▽「週40時間労働」の実施▽「育児・介護休業法」(*2)の施行▽「児童手当」の給付―など、あの手この手の支援を講じてきました。15年4月からは、待機児童解消のための「子ども・子育て支援新制度」(*3)も始まります。

しかし、働く女性が増え、経済的な安定を手に入れた今、制度の創設や支援事業の拡充だけで、少子化に歯止めをかけることは難しいのでは、との見方も少なくありません。どうやら、従来の「子育てを支援する」という考え方を変えてみる必要があるようです。

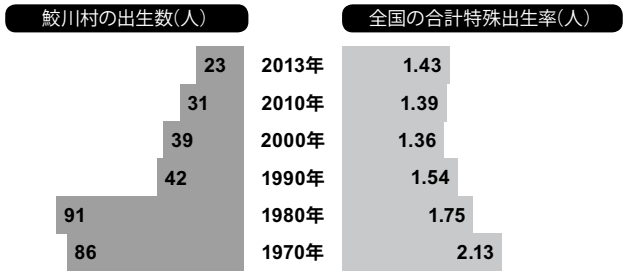
【グラフ3】平均初婚年齢と母親の平均出生時年齢

資料：厚生労働省「人口動態統計」



【グラフ2】鮫川村の出生数と全国の合計特殊出生率

資料：鮫川村住民福祉課調べ／厚生労働省「人口動態統計」



＊1　合計特殊出生率　15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの。人口増減がない人口置換水準2.08
＊2　育児・介護休業法　短時間勤務制度、所定外労働の免除や父母の育児休暇取得などを定めたもの
＊3　子ども・子育て支援新制度　「認定こども園」の普及、少人数を保育する施設の創設、放課後児童クラブの充実などを図るもの

土壌

笑顔が連鎖する家庭や地域

親は子育てを楽しむ、子どもは伸び伸び育つ
村は、笑顔が広がる子育てを応援します



1_体を使った遊びで触れ合う親子(やまゆり乳児室)
2_砂場で遊びに夢中の子どもたち(こどもセンター)
3_指導員に見守られながら遊ぶ児童(放課後児童クラブ)





働き盛りの親を応援

村は、育児と仕事の両立を応援するさまざまなサービスを行っています。

幼保一体施設「さめがわこどもセンター」(鈴木令子所長、１４０人)は、①ゼロ歳児から3歳児までを保育する「未満児保育」②午後6時30分までの「延長保育」③通院や免許証更新などの際、一時的に預かる「一時預かり保育」―などを実施して、働き盛りの両親をサポートしています。

25年も前から取り組んでいるリズム運動はセンターの目玉。施設には、ピアノの音に合わせてスキップしたり、力いっぱい体を動かしたりする元気な子どもたちの笑顔があふれます。その腕前は、お遊戯会などで側転、鉄棒やとび箱を披露するほどです。

入園前の親子を応援

センターは、児童が集団生活を通して人間関係を学び、心を育くむ場です。

鈴木所長は「子育てとは、心を育てること。幼い子どもたちも、いつかは社会に出ます。困難に負けない強い心と、人の痛みが分かるやさしい心を育てたいですね」と一人一人に愛情を注ぎます。

施設2階の支援室「やまゆり」では、入園前の親子を対象に「やまゆり乳児室」「やまゆり保育室」が開かれています。やがて入園する子どもたちが触れ合う場として、子育てを頑張るお母さんたちの情報交換や交

view



高木綾子さん、瑛飛君
32　西山字前押野

子どもの成長を見るのが楽しみ

共働きなので助かっています。運動会やお遊戯会などで、子どもの成長した姿を見るのが楽しみです。友達がたくさんいるので、瑛飛もこどもセンターが大好き。いろいろな遊びやたくさんの言葉を覚えて帰ってきます。今は体育館でとび箱をするのがお気に入りです。



小森多恵子さん
56　赤坂東野字戸草

伸び伸びと遊ばせたい

放課後児童クラブができたときから指導員として携わっています。子どもたちは学年は違いますが、同じ空間で上手に過ごしています。宿題をやる子もいれば、活発に走り回る子もいて、自由です。無我夢中で精いっぱい遊ぶのが子ども。伸び伸びと遊ばせてあげるのが理想です。

流の場として利用されています。

大玉村から嫁いだ2児の母、鈴木美里さん（31）＝西山字水口＝は「友人もなく、土地勘もないので、なかなか知り合いができませんでした。ここに参加してたくさんのお母さんたちとつながり、毎日が楽しくなりました」とにっこり。さらに、「子どもたちも、家ではできない遊びをしたり、同年代の子と触れ合ったりできるので、いい刺激になっています」と言葉を弾ませます。やまゆりの花言葉は「人生の楽しみ」。鮫川村で子育てを楽しむきっかけづくりになっています。

心の余裕が笑顔に

放課後、家に保護者がいない児童の居場所を提供する「放課後児童クラブ」。現在、1～6年生の児童約40人が利用し、4人の指導員が世話をしています。

午後3時。下校した子どもたちがクラブにやってきます。子どもたちを迎え入れる小森多恵子さん（56）＝赤坂東野字戸草＝。「帰ってきたら真っ先に宿題をさせます。終わった子は、絵を描いたり、トランプをしたり、鬼ごっこやかくれんぼで走り回ったりと、思い思いに過ごしています」とにっこり。

鮫川小4年の円谷楓華さん＝富田字中沢＝は「宿題が終わったら、本を読んだり、お店屋さんごっこをしたりします。先生は、怒ると怖いけど、普段は優しくておばあちゃんみたい」となついています。

楓華さんの母初枝さん（32）は「子どもだけで家に居るのは心配。クラブのおかげで心に余裕が生まれ、安心して仕事ができます」と感謝します。

子育てに「追われる」と子育てを「楽しむ」の差は、気持ちの差。心に余裕というアドバンテージがあればこそ、子育てを楽しむことができるのです。自然に笑顔も増えるのです。

笑顔が連鎖する家庭や地域は、幸せの源です。

村の多彩な応援メニュー

乳幼児期［0日～2,555日］

■赤ちゃん商品券…出生時に村内で利用できる商品券5万円分を贈呈／**■おむつ無料券**…2歳未満児に月5千円分のおむつ無料券を配布／**■乳幼児健診**…身体測定、診察、歯科・離乳食の指導や健康相談などを実施。少人数のため、保健師や栄養士が個別で継続的に対応できる／**■ブックスタート**…乳幼児健診の際に読み聞かせの実演をし、絵本を配布。本に親しむきっかけづくりと親子のスキンシップを図ることが目的

小・中学生［2,556日～5,843日］

■思春期保健講座…赤ちゃんが生まれる過程を理解し、妊婦体験を通して、命の大切さ、家族の愛情や感謝の気持ちなどを学ぶ／**■芸術鑑賞教室**…音楽や演劇を鑑賞し、児童･生徒の感性を養う／**■チャレンジスクール**…レクリエーションや村外視察研修を行い、児童・生徒のスキルアップを目指す／**■英語宿泊体験研修**…村内の小学6年生が英語研修施設に宿泊。国際理解と英語に関心・興味をもつ人材を育成する

高校生、大学生など［5,844日～7,304日］

■バス通学利用者の定期券購入助成…村内を走る生活路線バスの通学利用者に、定期券購入費の半額を助成／**■奨学基金制度**…高等学校、高等専門学校、大学および大学院、短期大学、専門学校などに在学または入学している人に対し、奨学金を貸与。村に居住して10年以上村内で就農すると奨学金の返還免除／**■全国体育大会出場激励金**（小学生以上）…全国大会以上の体育大会に出場する個人および団体に激励金を交付

ゼロ歳～18歳［0日～6,573日］

■インフルエンザ予防接種費用助成…任意接種のインフルエンザ予防接種費用を2千円助成。小学6年生以下は2回、18歳未満は1回／**■子ども医療費助成制度**…2012年10月から、県内全市町村のゼロ歳から18歳までの医療費が無料化

Inter

鈴木美里さん、颯太君 日南乃ちゃん
31　西山字水口



仲間づくりができる場所

やまゆり乳児室に参加して知り合いが増え、視野が広がりました。お母さんたちと話すことで、子どもの発育などに対する心配も和らぎました。村外から来たお母さんにとっては、仲間づくりもできる場所です。子どもたちも「帰りたくない」と駄々をこねるほど楽しく過ごしています。

石井美香さん、陽南乃さん
33　赤坂東野字木戸沢



児童クラブがあるから働ける

うちは両親も仕事をしているので、預けてばかりいられません。もし児童クラブがなければ、私は働けなかったと思います。近所に子どもがいないので、陽南乃はここでなければ友達と遊べません。年齢が違う子どもたちと交流できることも成長につながっています。

愛情

子どもの「大好き」をみんなで応援

長男桜也君が大好きな野球を家族みんなで応援する
蛭田家の子育てに親子の絆を深めるヒントがありました



蛭田さん家族　赤坂東野字大房
（後列）哲さん（37）、恵美さん（37）
（前列）桜也君（小5）、柊矢君（小1）、真菜花さん（小2）

野球三昧の蛭田家

日曜の早朝、赤坂東野字大房の自宅でバッティング練習に励む蛭田桜也君は、鮫川スポーツ少年団学童野球部（我妻正紀部長、35人）で活動する鮫川小の5年生。

専用器具でボールを出すのは父哲さん（37）。その隣で「腰を落として」「脇を締めて」とアドバイスするのは母恵美さん。蛭田家のヘッドコーチは恵美さんです。

桜也君がスポ少に入ったのは小4の春。練習は毎週火・木曜、週末は大会や練習試合と野球漬けの毎日です。兼業農家の哲さんは、繁忙期には休み返上で農作業をするため、おっかけは恵美さんの仕事。普段の練習や試合を通して、学んだスキルで桜也君にアドバイスします。

「野球は最高」と自身も楽しむ恵美さんは、「監督の指示やコーチのアドバイスを聞いているうちに詳しくなりました」とにっこり。「頑張って」とエールを送られた桜也君は「試合でいいところを見せたいから」と照れくさそうにバットを振ります。

一方、仕事の合間に、キャッチボールや素振りを付き合う哲さんは学生時代、卓球部に所属。「野球経験がないので、息子に教わっている感じです」と苦笑いします。

祖母ミヨ子さんの協力も欠かせません。帰りが遅い共働きの両親に代わって、平日の練習は送迎を、週末は、真菜花さん（小2）と柊矢君（小1）の世話をしてくれます。蛭田家は、家族みんなで桜也君を応援しています。

褒められるのが好き

野球を始めて桜也君の成長をつぶさに感じている恵美さん。

「精神的に強くなりました。桜也は、きょうだいで一番の甘えん坊。お父さんに注意されるとすぐに泣いていたんですが、野球を始めてから、泣かなくなりました」と誇らしげです。哲さんも「技術より精神面の成長がうれしいです。これからの人生、いろいろな困難に直面しても、負けずに乗り越える強い人間になってほしいです」と優しいまなざしで見つめます。

来春からいよいよ6年生。



1

1_ お父さんとバッティング練習をする桜也君
2_ 守備ではボールを体で止めることを意識しています
3_ 技術だけではなく、チームワークも学んでいます
4_ 気合いを入れて打席に立つ桜也君

「目標はレギュラーです」ときっぱり。「冬場に振り込んでアッパーになりがちなスイングを直したい」と目標は明確です。「ヒットを打つと気持ちがいいし、みんなが褒めてくれるからうれしくなる。もっとたくさん打ちたいです」と瞳を輝かせます。

子育ては夢育て

「子どもたちと過ごす時間はあっという間。いくらあっても足りません」と恵美さん。そう、子どもは、大人が考えている以上に早いスピードで成長していきます。

子育て真っ最中の両親は、働き盛りの場合が多く、忙しさのあまり、子どもと向き合う時間は少なくなってしまいます。でも、大切なのは時間の長さではありません。愛情の深さです。両親や家族の応援は、子どもたちが頑張る力の源です。

恵美さんは「頑張る桜也が大好きです。応援したくなります。私が応援すると桜也は、うれしくなって、また頑張ります。子どもは、子どもなりに親の愛情を感じているし、感謝しているんだなって思います」と語ります。

一方、哲さんは「スポ少は指導者任せ、習い事は先生任せではなく、子どもの『大好き』を共有することが大事」と力を込めます。

子どものやる気には「旬」があります。やる気満々のとき、好奇心旺盛のとき、そんな旬に気付いて、背中を押してあげることが大事です。蛭田家に見た「大好き」を共有し、やる気を引き出す力こそ、真の「親力」ではないでしょうか。

子どもを育てるということは、子どもの夢を育てることなのかもしれません。



2



3



4

人情

今こそ生かしたい地域の祖父母力

子どもが減って、元気なお年寄りが増えました
さあ、おじいちゃん、おばあちゃんの出番です

落合の放課後

11月12日午後4時すぎ、西山の落合集落――。

自宅にランドセルを置いた我妻成貴君（鮫川小6年）と佑作君（同3年）の兄弟は、近所の我妻凌君（同3年）と3人で、我妻奏汰君（同2年）の家に向かいます。それぞれ手には野球道具。庭先でキャッチボールが始まりました。「手首を使って投げるんだよ」とアドバイスする成貴君は、落合集落のアニキ的存在。静かな集落に元気な声が響きます。

様子を見守る奏汰君の曽祖父隆さん（84）。「にぎやかになった。見ているだけでこっちまで元気になるよ」と目を細めます。

頃合いを見計らって「おやつだよ」と声を掛ける奏汰君の祖母久美子（58）さん。「腹減った」と一斉に家に入った子どもたち。おやつの今川焼をペロリと平らげ、今度は野球のボードゲームを始めます。日が沈むまで止まない子どもたちの笑い声。これが、落合の放課後です。

現在、落合の児童生徒は小学生6人、中学生2人。少子化が進む中、近所にこれだけの子どもたちがいる集落は、村内でも稀（まれ）です。「帰宅後は1人でゲーム」という保護者の声が多い中で、落合の子どもたちは、友達と一緒に放課後を過ごします。

その理由の一つに落合の地域行事が挙げられます。

落合では11月に「もみじ祭

野球のボードゲームをする4人。
写真左から成貴君、佑作君、凌君、奏汰君



り」、小正月に「どんど焼き」など、世代を超えて参加できる行事が年中行われています。奏汰君は「みんなで食べたり、飲んだりすることが楽しい」と次の行事を楽しみにしています。隆さんは「うちの子、よその子の分け隔てがない。みんな落合の子だよ」と笑います。

人の和、地域の輪

みんなで育てる「落合の子育て」は理想的です。しかし、多くの集落は「そうしたくてもできない」のが現状。子どもがいないのです。

そんな中、「鮫川バドミントンクラブ」（齋須寛一代表、会員16人）が注目されています。小学生から60代までのメンバーが、集落を越え、世代を超えてシャトルをつないでいます。

今年4月に入った鮫川小4年の蛭田南央斗君＝渡瀬字田苗下＝は、松本一治さん（67）＝富田字鍬木田＝を相手に一心不乱に打ち返します。スマッシュが決まると、「いいスマッシュだ」と声を掛ける一治さん。南央斗君は「大人はうまいし、優しく教えてくれるから楽しいです」と息を弾ませます。南央斗君の母美幸さん（34）は「こんなに夢中になれたものは初めて。クラブに入ってから顔見知りの人が増えて、南央斗は明るくなりました。街や道で見かけるとうれしそうに手を振ります」とその変化に驚いています。

会うとうれしくなり、褒められるとまた頑張れる、そんなすてきな関係は、2人に限らずクラブ全体に広がっています。

齋須代表（68）＝赤坂中野字新宿＝は「大人にとっても、子どもにとってもクラブでの時間は貴重。バドミントンの輪は、人の和を育み、地域の輪へと広がっています」と誇らしげです。


基礎練習のあとは、大人と子どもがダブルスを組んで試合形式の練習をします

集い、つながる

「褒める」は、自己肯定感を育てる行動です。子どもの成長過程における自己肯定は「生きる力の源」ともいわれています。

大人の愛情が伝わる言葉や行動は、子どもたちの心を開きます。そんな大人と触れ合った子どもたちは、家族はもちろん、地域の人たちにも大切にされていることを実感します。

高齢社会は、子ども1人にたくさんの高齢者が関われる社会です。子どもは、何でも知ってるおじいさんや何でも話を聞いてくれるおばあさんが大好きです。集い、つながることさえできれば、落合集落や鮫川バドミントンクラブのような関係を村中に広めることができるのではないでしょうか。

FOCUS

★読み聞かせボランティア

おはなしポケット

須藤幸子代表、会員7人

育児を終えた女性たちが心を育てる読み聞かせ

図書館や学校で本の読み聞かせを行うボランティア団体「おはなしポケット」。設立時から鮫川小学校（芳賀なおみ校長、177人）で続けてきました。

須藤幸子代表（67）＝赤坂東野字遠ヶ竜＝は「当初は、読み聞かせ中に手遊びをしたり、別の本を読んだりする子もいて、なかなか集中できませんでした。今は落ち着きがあって、集中して聞いてくれます」と子どもたちの変化に驚いています。

メンバーに、子どもたちを育てているという意識はなく、そろって「わが子にしていた延長」とにっこり。幸子さんは「この子たちが親になったとき、今度は自分が読み聞かせをしてほしいですね」と願っています。



技術だけでなく、人間性まで成長しました

蛭田美幸さん（34）、南央斗君（小4）　渡瀬字田苗下



自分で考えて行動できるようになりました。目上の人に対する言葉使いや毎日のあいさつなど、礼儀も身に付きました。地域の人たちに技術だけでなく、人間性まで育ててもらっています。

クラブに入って、習慣まで変わりました

霜田純さん（37）、侑奈さん（小5）　赤坂西野字前折戸



親子でバドミントンを楽しんでいます。クラブに行くために宿題を早く終わらせたり、お手伝いをしたりと習慣まで変わりました。最近は、フォームがよくなってますます楽しくなっています。

支援から応援へ 地域で育てる鮫川の子育て

主任児童委員
菊地朋子さん



PROFILE●きくち・ともこ
長年、保育士として活躍した子育てのエキスパート。2012年3月に退職。13年から主任児童委員。62歳。渡瀬字下在住

子育てに悩む両親は少なくありません。子どもの成長過程には転んだり、つまづいたりすることがよくあります。そのときしっかり支えてあげるのが親の役割です。

でも、子どもは、言葉で伝えることが苦手です。表情や態度などに置き換えて訴えてきます。そのサインを見逃さないためには、日ごろから寄り添い、向き合うことが大切です。

子どもは大人をよく見ています。大人の考えや気持ちに敏感です。「いつもそばにいるよ」という気持ちが伝われば、愛情を感じたり、安心感を得たりすることができます。それが、やがて困難を乗り越えていく力へと変わります。

私が子どものころは、テレビが普及したばかりで、今ほど豊かではありませんでした。でも、両親や祖父母に、大切に育てられたと実感しています。

数年前、母がこんなことを話してくれました。私が小学校を卒業する時、担任の先生に「朋子の夢は保母さんになること。その夢をかなえてあげてください」と言われたそうです。決して裕福な家庭ではありませんでしたが、父は、出稼ぎをして家計を支えました。私は、奨学金を借りて短大を卒業することができました。両親や先生からたくさんの愛情を受けて、今の私があるのです。

愛情は伝わります。人情は染みてきます。それは、いつの時代も変わりません。でも、現代は、親自身が仕事や人間関係などのストレスを抱えており、子どものことは後回しになってしまいがちです。「言うは易く行うは難し」。子育ての原点は家庭であり、責任は親にあります。自分が守り、育てるという信念が必要です。

そんな私もワーキングマザーで、3人の娘を祖父母に任せきりでした。祖父母がいないときは、近所の人たちが支えてくれました。当時は、地域で子どもを育てることが当たり前の時代。今のように支援や制度が充実していなくても、子育てしやすい環境だったと思います。

核家族化が進み、個人主義の風潮が広がった現代は、かつては当たり前だった助け合う地域力を潜在化してしまいました。地域の中での付き合いや触れ合いが減ったために、互いにどう関わればよいのかがわからないのです。

少子高齢化で子どもが減りました。一方、元気なお年寄りは増えています。今こそ、この祖父母力を生かして、より丁寧な、人の手による子育てを実現しましょう。困っている人に手を差し伸べる支援だけではなく、これからは一緒に守り、育てる「応援」です。古くから鮫川にあった地域の子育てを復活するのです。それは、安心して暮らせるコミュニティーの再生にもつながります。

鮫川式 子どもの夢の育て方

７３０４日。子どもが生まれてから成人するまでの日数です。

この成長過程で子どもたちは、たくさんのヒト、モノ、コトと出会います。さまざまな経験を重ね、心を動かされながら少しずつ成長します。

子どもには、子どもらしく、子ども時代を生きる権利があります。夢を抱き、希望を持って成長していく役割があります。そんな子どもたちの夢を育てることこそ、真の子育て支援なのかもしれません。

支え合う村
目配り、気配りできる村
頑張れる村
笑い声が絶えない村



無限の可能性を秘めた子どもの夢は、誰にも止められません。それは、同時に親の夢であり、地域の夢であり、ふるさとの夢でもあります。

働きながら育てるという忙しい日々が、夢を育てる日々に変わったら、「産む」ことをためらったり、「育てる」ことに負荷を感じたりすることが、少なくなるのではないでしょうか。

子どもの夢を応援するために大切なものは「情」です。情は、何かを感じて動く心の働きや思いやりの気持ちなどを意味します。

例えば、「手・まめ・館」で子どもを見かけたとき、「元気だね」とかける優しい言葉。野球を頑張る少年たちに「うまくなったね」とかける励ましの言葉。そんな言葉が子どもたちには、とてもとても必要なのです。

さあ、一声かけてみましょう。それが、夢育ての第一歩。声をかけた、それだけで、互いの距離が、ぐっと近づくはずです。

公的年金受給者も児童扶養手当を受け取れます

12月1日から「児童扶養手当法」の一部が改正されました。これまで、公的年金（遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償など）を受給している人は児童扶養手当を受け取れませんでしたが、公的年金受給額が児童扶養手当の支給額より低い場合は差額分の手当を受け取れます（図1）。

申請方法　申請に必要な書類は家庭の状況により異なりますので、役場住民福祉課福祉係に相談してください。

支給方法　申請した月の翌月分から支給されます。ただし、12月1日時点で支給要件を満たし、27年3月までに申請した場合は12月分の手当から受け取れます。※26年12月から27年3月分の手当は、27年4月に支払われます。

【児童扶養手当】

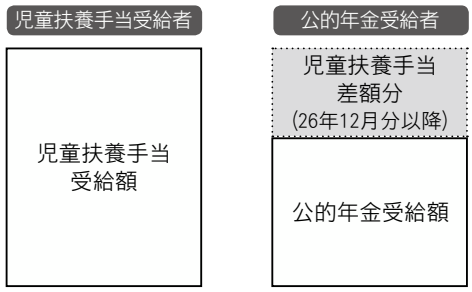
離婚や死別などの理由でひとり親になった母親または父親が、18歳に達した年度の末日までの児童（障害がある場合は20歳の誕生日まで）を育てている場合に支給されます。支給額は支給対象者の前年の所得により決定され、全部支給されない場合があります。

■**問い合わせ**　役場住民福祉課福祉係☎49-3113

■児童扶養手当の支給月額

児童数	全部支給	一部支給
1人	41,020円	41,010～ 9,680円
2人	46,020円	46,010～14,680円
3人	49,020円	49,010～17,680円

【図1】公的年金受給者の場合



※児童扶養手当の支給額が一部支給の場合、その額との比較になりますので注意してください。

鹿角平クロカン
林間コースが完成

鹿角平クロスカントリーコースに林間コース約2.8キロを増設しました。東屋3棟を設置し、トレーニングはもちろん、ノルディックウォーキングや散策も楽しめるコースです。気軽に利用してください。

■**問い合わせ**　村企画調整課商工観光係☎49-3115



仮設焼却施設周辺空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

■**問い合わせ**　村地域整備課環境係☎49-3196

■施設周辺の空間線量（11月21日実施）　［μSv/h］

モニタリングポスト測定値	測定箇所	測定値	仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	測定値
	仮設焼却炉入口	0.10		施設東側120m	0.11
	青生野小学校	0.12		施設南側120m	0.12
	朝日山登山道入口	0.10		施設西側120m	0.15
	青生野肥育組合	0.12		施設北側120m	0.15
	鹿角平観光牧場	0.08		仮置場看板付近	0.09
				石久保線起点	0.14
				石久保線終点	0.12
				和協管理棟付近	0.13

衆議院議員総選挙・国民審査は12月14日（日）

忘れずに投票しましょう

投・開票日　12月14日（日）

投票できる人　平成6年12月15日までに生まれた人または26年9月1日までに転入して選挙人名簿に登録されている人

投票時間　午前7時～午後7時

【期日前投票】

投票日に投票所に行けない人または行けないと見込まれる人は、投票日前に投票ができます。

期間　▼衆議院議員総選挙…12月3日（水）～13日（土）▼最高裁判所裁判官国民審査…12月7日（日）～13日（土）午前8時30分～午後8時※衆議院議員総選挙と国民審査の期日前投票開始期間が異なるため、12月7日（日）以降でないと、一度に両方の投票を行えません。

期日前投票所　役場村民ホール

その他　足が不自由で車いすなどを利用している人は、期日前投票をお勧めします。期日前投票所には、診療所で運行している送迎バスを利用することもできます。利用する場合は、必ず診療所（☎49-2028）に電話で予約してください。

■**問い合わせ**　村選挙管理委員会☎49-3111

福島県知事選挙

村の投票率 67.55％

10月26日に執行された第20回福島県知事選挙の村の投票率は、67.55％でした。

投票区別の投票率は次のとおりです。

■投票区別投票率

投票区	投票率（%）		
	男	女	計
鮫川	66.05	65.68	65.87
西野	70.04	77.29	73.70
西山	65.63	66.54	66.09
富田	68.09	68.10	68.09
渡瀬	62.27	62.73	62.50
青生野	69.91	74.11	72.00
戸草	69.14	70.42	69.74
計	66.73	68.38	67.55

農産物などの放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物などの放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。村では引き続き放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

10月16日～11月14日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
ハクサイ	不検出～31	不検出～48		不検出	不検出	不検出	
ダイコン	不検出	不検出		不検出	不検出～26		
ニンジン	不検出～22				不検出		不検出
ジャガイモ	不検出			不検出			16
サツマイモ		不検出	不検出	不検出～22			
ネギ	不検出		24				
カブ	不検出	不検出		不検出	不検出		
ブロッコリー	不検出	不検出		不検出	8		
サトイモ	不検出	不検出～18		不検出			
イモガラ	11	16	不検出	20			
カキ		不検出～25	不検出		不検出		
マメ類	不検出	不検出				不検出	
イノシシ肉	81～245	425		368～694	161	90～431	

■**問い合わせ**　村農林課☎49-3114

第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

村の誇りを胸に タスキをつないだ95.1キロ

第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月16日（日）、しらかわカタールスポーツパークをスタート、県庁前をゴールとする16区間、95・1キロのコースで開催され、本村チームは総合31位と健闘しました。

ことしは中学生・高校生の若い力を中心に、それをベテランがまとめるという編成で大会に挑んだ本村チーム。当日は、けがにより選手を入れ替えるなど、万全の状態ではありませんでしたが、昨年よりも順位を一つ上げ、総合タイムを11秒縮めました。阿久津光市監督＝西山字折戸＝は「予定と大幅に変わってしまい、選手たちも苦労したと思います。その中で、昨年よりも成績が上がったのはひとえに選手たちの頑張り」と健闘をたたえました。大橋邦次団長＝富田字前沼＝は「選手たちは精いっぱい走り抜いてくれました。保護者の皆さんの支えがあったからだと感謝しています」と関係者の労をねぎらいました。


アンカーの前田主将がゴール

アンカーを務めた前田大樹主将＝赤坂東野字前田＝は「目標タイムより遅れてしまい、チームに迷惑をかけてしまった。しかし、中学生・高校生が頑張ってくれました。来年は、一般ランナーも負けないように頑張らないといけませんね」と汗をぬぐいました。

ことしは惜しくも区間賞を逃してしまいましたが、昨年よりも選手一人一人の実力が上がったことを証明しました。「村のために、村民のために」とタスキをつないだ選手やサポートメンバーは晴れやかな表情でした。


選手、サポートメンバーが団結しタスキをつないだ鮫川村チーム

エン・ドゥ・ライフ　Vol.8

縁DO LIFE ～笑顔を力に～

緑のふるさと協力隊
遠藤敬介さんの鮫川体験記

農村と都市の架け橋になれるようできることを考えていきたい

師走に入り、寒さも一段と厳しくなってきました。いつもお世話になっている緑のふるさと協力隊の遠藤敬介です。

ことしも残すところあとわずかですが、年の初めごろは、自分がどこで活動していくのか見通しがつかない状況でした。ただ漠然と今とは違う環境で生活したいと考え、落ち着かない日々を送っていました。そこで、一度自分の気持ちを整理するため、あてもなく旅に出ることにしました。

電車を乗り継ぎ、たどり着いたある町。その町をもっと知るために歩いて確かめることにしました。次第に明かりが少なくなり、畑や果樹園、そして小さな集落だけという景色が延々と続く田舎町。スーパーや飲食店などの店がない中で暮らしている人たちは、どのような生活をしているのだろうと疑問に思いましたが、そのときは詳しく知ることができませんでした。

この旅が一つのきっかけとなり、どうすれば地域の中に溶け込み、その暮らしを知ることができるだろうかと考えるようになりました。その後、運良く緑のふるさと協力隊の担当者と知り合い、鮫川村に来ることができました。

10月30、31日の2日間で行われた研修会で、各地域の協力隊と担当者が集まり、「暮らしたくなる地域づくり」というテーマで議論をしました。議論の結果は、地域の魅力を、どのように発信・継承していくのかが鍵になる。そして、その一翼を担うのが協力隊だということでした。

地域をPRしていく方法は、いろいろありますが、その地域をまったく知らない人に魅力を伝えることは難しいです。これから私に何ができるのか、あらためて考えていきたいです。

今はまだ旅の途中です。この旅をもっと充実したものにするため、悔いが残らないよう1年を締めくくりたいです。









1. 竹細工教室「手籠作り」に参加しました。皆さん講師の緑川末治さん（内ヶ竜）の手さばきを熱心に観察していました。
2. 東北・関東地区の協力隊と担当者が集まり、研修を行いました。
3. 大豆の脱粒作業を手伝わせてもらいました。
4. 11月9日に行われた「手・まめ・館」の9周年感謝祭。多くの人でにぎわいました（ワンコインバイキング）。

facebook 「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」「いいね！」お願いします。

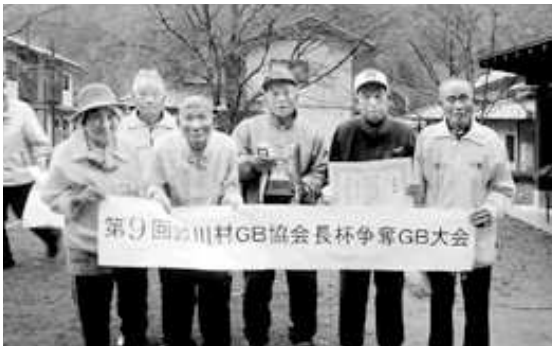
美しいハーモニーを奏でる
村公民館で県南女声合唱祭



9団体が自慢の歌声を披露

第19回県南女声合唱祭は11月9日、村公民館で開かれ、県南地区で活動する9団体が自慢の歌声を披露しました。

このうち本村の「コーラスさめがわ」は、美しいハーモニーで観客を魅了。満席の会場から大きな拍手が送られていました。



優勝を勝ち取った中野Aチーム

中野Aチームが熱戦制す
協会長杯ゲートボール大会

第9回村ゲートボール協会長杯争奪ゲートボール大会は11月12日、ひだまり荘ゲートボール場で行われました。

大会には12チームが参加。熱戦を勝ち抜いた中野Aチームが優勝しました。

▶結果①中野A②渡瀬B③西山B、渡瀬B

栄えある受賞

水野さんが「全国防犯協会連合会会長表彰」前田さんが「感謝状」を受賞



長年、地域安全活動に尽力した功績が認められ、このほど本村の2人が防犯功労者として表彰されました。水野一美さん㊧(66)＝西山字追木＝は「公益財団法人全国防犯協会連合会会長表彰」を受賞。前田博之さん㊨(53) ＝赤坂中野字宿ノ入＝には、公益財団法人全国防犯協会連合会会長と県警察本部長から感謝状が贈られました。

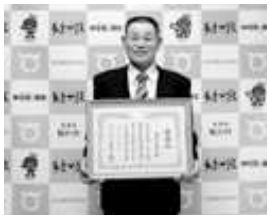
棚倉地区交通安全協会鮫川支部が優良交通関係団体として「特別表彰」を受賞



棚倉地区交通安全協会鮫川支部が優良交通関係団体として県交通対策協議会長から表彰を受けました。

同支部の交通事故防止に向けた多彩な啓発活動などが認められました。

工業統計調査などの功績認められ芳賀さんが「感謝状」を受賞



工業統計調査などに長年、従事してきた芳賀逸義さん(67) ＝赤坂東野字戸草＝の功績が評価され、経済産業省大臣官房調査統計審議官から感謝状が贈られました。伝達式は10月22日、村役場で行われ、大樂村長から感謝状が手渡されました。

村政TOPICS

教育委員に青戸義之さん（再任）


青戸義之さん

村教育委員会委員の任期満了に伴い、11月1日付で青戸義之さん＝富田字彦次郎＝が任命されました。

任期は平成30年10月31日までの4年間です。

啓発活動で人権尊重を呼びかけ


啓発活動を行う人権擁護委員

人権擁護委員は人権週間に先立ち11月3日、村公民館で人権思想の普及と意識の高揚を図るため、啓発活動を行いました。委員は、一人一人にチラシなどを配って、人権尊重などを呼び掛けていました。

日ごろの学習成果を披露
鮫川、青生野両小学校で学習発表会

鮫川、青生野両小学校の学習発表会は10月26日、各学校で開かれ、児童が日ごろの学習成果を披露しました。

鮫川小(芳賀なおみ校長、児童177人）の学習発表会「さめっ子フェスティバル」では、合唱部の発表、合奏や劇など、学年ごとに趣向を凝らした演目が発表され、フロアを埋めた父母や地域住民から盛んな拍手が送られていました。

一方、青生野小(遠藤真由美校長、児童12人）の児童は、英語劇、創作劇、全校合唱などを披露。プログラムの最後は、児童、保護者、地域住民が一つになって圧巻の大合唱で締めくくり、体育館いっぱいに歌声を響かせていました。





上＿鮫川小2年生の劇「I LOVE スイミー」
左＿青生野小3、4年生の英語劇「Hats for sale! ぼうし売りの男」



来場者に振る舞われた杵(きね)つき餅

笑顔の絶えない店を目指して
村民の店「すまいる」1周年感謝祭

村民(みんな)の店「すまいる」の1周年感謝祭は11月2日、同店で行われました。

会場では杵(きね)つき餅や豚汁が無料で振る舞われたほか、抽選会、語り部による民話やクロリティ大会など多彩な催しが目白押し。訪れた多くの買い物客らでにぎわいました。

思いを言葉と歌にのせて
少年主張大会・音楽発表会

第19回村少年主張大会と第13回音楽発表会は11月3日、村公民館で行われました。

主張大会では、小・中・高校生が日常生活で感じたことなどを発表。音楽発表会では、小・中学生、女声合唱団員が美しいハーモニーを披露しました。



自分の思いを主張する児童生徒

村政TOPICS

火災防御訓練で万一への備え

火災防御訓練は、秋季全国火災予防運動初日の11月9日、渡瀬字木之根地内で行われました。

「たばこ投げ捨てから火災が発生。山林に延焼し、民家に迫っている」想定で行われた訓練には、棚倉消防署鮫川分署員や村消防団員などが参加。▼通報▼初期消火▼情報収集▼放水―の一連の防御活動が繰り広げられました。団員らは、本番さながらの機敏な動きで、作業に当たっていました。

訓練終了後は、消火器取扱訓練が行われ、地元住民は、鮫川分署員の指導で安全な消火方法を学びました。



本番さながらに放水をする団員

KYOKO SOTA



そうた・きょうこ●昭和29年６月生まれ。赤坂東野字官代在住。専業主婦。趣味は自由に歌うカラオケ。モットーは「笑顔は活力」

村民【随想】リレー ―― (197)

宗田亨子さん

区切り

ことしは人生の中で、区切りとなる出来事が二つありました。

一つ目は、娘の結婚です。肺炎や骨折など、病気やけがにハラハラドキドキしながらも、初めての子育てを楽しんできました。こうして娘が成長できたのもたくさんの人に助けられ、育てていただいたおかげだと感謝しています。いつまでも仲良し夫婦でいてほしいと願うばかりです。私もまだ半人前ですので、共に歩もうと思っています。

二つ目は、長年務めた会社を定年退職したことです。貧しかったにもかかわらずわがままを聞いてくれた両親、会社へ導いてくれた恩師など、周りの環境にめぐまれたおかげで勤めてこられたと感謝しています。これまでは、「会社に育てられた」私でしたが、これからは「自分で自分を育てる」ようにならなければと少し気負っています。

現在、保健推進員をさせていただいています。その中で、お年寄りの皆さんの笑顔と元気に力をもらいました。私も負けないよう、体力づくりとして毎日1時間のウオーキングを心掛けています。これまでは、仕事優先の日々で村の行事にほとんど参加できませんでしたが、これからは地元の人たちと交流する機会を増やし、少しずつ貢献したいと思っています。

■次は、金澤省明さん(赤坂中野字新宿)にバトンタッチ!

俳句

木枯しや十月二七日窓叩く　中井　恒峯
空澄みて薄雲に浮く十三夜　前田　縫子
原発禍今だ食せぬ山の幸　北條素人坂
秋祭り歓声あがるチビ相撲　北條　平
赤まんま束ねてかざす母の影　齋須　信子
夕日中歌う峠の彼岸花　黒田　寿香
刈り残すココア色した猫じゃらし　鈴木　米子
名月も防護頭巾のかさかぶる　土　竜　庵
さんま焼く母に飲み会言い訳し　山本　恵子
雨猛暑巡り巡りて季節去る　松本　精一
台風一過朝日煌めく山野かな　山本五十鈴

短歌

太平洋見下ろす三崎公園でホームの伯母との対話たのしむ　鈴木イミ子
菊の花夜来の雨にしとど濡れ花首重くしだれていたり　佐藤　春枝
上杉謙信祀られている神社には武勲を乞うなる御籤の成る木　矢吹　定子
願う事国の平和であるが故頼る政治の今日を見守る　須藤　幸子
山の日の傾く儘に酔芙蓉の花も閉じゆく地を染めながら　水野　珠子
人生も八十からと言いし人この頃聞かずその消息は　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 33

鮫川を良くしたいという熱意で活動



鮫川村商工会青年部

関根巨樹部長／会員15人

村商工会青年部には20、30歳代の部員15人が所属しています。これまで継続してきた同青年部主催の鮫川花火大会、うまいもの祭りや商工・ＪＡまつりの参加に加え、今年から県南地区内の商工会青年部と連携し、村外イベントにも積極的に参加して鮫川村をアピールしています。次代の担い手が減少するとともに、部員も減少。そのような状況の中、広域的に手を取り合い、まとまった活動をしていきます。

現在、さらに鮫川の魅力を伝える方法として、Ｂ級グルメの確立や音楽イベント開催など、新たな取り組みを模索している段階です。「鮫川を良くしたいという思いを持った部員ばかり」と断言する関根部長。商工業の発展や活性化はもちろん、子どもと高齢者のパイプ役にもなりたいと熱意は尽きません。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

学校では教えてくれない人生を変える音楽
（又吉直樹他著、河出書房新社）



ときに励まされ、ときに癒やされ、ときに人生をも変える力を持つ「音楽」。作家、学者、漫画家、音楽家、アイドル、芸人など、26人が人生で出会った音楽の中から選び抜いた１曲とその曲への思いなどを紹介します。

かわいいマスクがいっぱい！かんたん手づくりマスク
（アズマカナコ著、小学館）



ただの白いマスクではつまらない。使い捨てマスクがもったいない。という人のためにかわいい柄もの、ワンポイントのデコグッズや消しゴムはんこなど、遊び心いっぱいのマスクの作り方とアイディアを紹介した１冊です。

第３土曜日は **家族一緒に読書の日**

あるかなし放射能にも怖れなし採らぬ山菜は山に満るという　溝井　清乃
無言なる野菜の心汲みとれば生きる道にも明るさの出づ　坂本　伊紀
この国に生まれて良かった平和なる政治経済安心の文字　一平　子
園児らの歓声あげてさつま掘る在りし日偲びて遥かに望む　石井　幸子
楽しみの長寿会事業の湯は入りに若きに返り華やぐ三日　須藤シツエ
今年また可愛いく桜咲き花は薄いピンクに静かに開く　前田喜三子
ほつほつと降り来る時雨ひんやりと頬撫でてゆく枯葉も濡らし　関根ヨネ子
台風の窓打つ荒き雨音の響くを夜更けに目覚めつまた聴く　藤田千代子
若き日の生き様今に思うとき歌友との絆の有り難さを知る　関根ハナヨ
収穫のすみて安堵のいとま無く安値の米価に未来を不安に　関根　富久
大胆に事業進めし墓地整備未来に繋げる道完成の　板橋　源良
ロベリアの青き小花に寄りて来る羽音かそけき霜月の蜂　関根キヌ子
大きいと大歓声の園児等に手伝う老連一緒に芋掘る　矢吹　一二
紫蘇の実を籠いっぱいに抱え来て妻は香りを吾に寄せ来る　北條　平



1993年には、クレー射撃の射撃指導員の免許を取得した正衛さん

あなたの光る技
キラり
Vol.29

クレー射撃
船木正衛さん
ふなき・まさえ／富田字反田／79歳

クレー射撃一筋50年 気持ちはまだまだ若い者に負けない

80歳になる今なお現役でクレー射撃に打ち込む船木正衛さん。クレー射撃とは、空中を飛ぶクレー（素焼き皿）を銃で撃ち落とし、その枚数を競うスポーツです。

24歳のときに銃の免許を取り、30歳のころ、頼まれて出場した郡大会で初出場にもかかわらず優勝。以来、クレー射撃のとりこになり、腕を磨き続けてきました。昨年は、全日本狩猟倶楽部の東日本大会5連覇という前人未到の大記録を達成するなど、その技術は全国レベル。自宅にはこれまでに獲得した賞状やメダルなどが飾られています。

15メートル離れた場所から四方八方に放たれるクレーを打ち落とすためには、度胸が大切と話す正衛さん。「俺が撃つから見ていろ」という強い気持ちで挑んでいます。「命中した瞬間が何より楽しい」と目を輝かせます。

「三度の食事よりも射撃が好き。いつまで続けられるか分からないが、丈夫なうちは挑み続けたい。気持ちはまだまだ若い者に負けない」と話す表情からは気迫すら感じられます。



素早い手付きで銃を組み立てる正衛さん。猟銃のほか、空気銃も所有しており鳥の駆除にも一役かっています

若者の広場　No.120

Young Plaza

矢吹飛鳥さん

季節の移り変わりを楽しめる



やぶき・あすか
平成５年６月14日生まれ　21歳
Ｂ型　ふたご座
趣味はランニングと盆栽
赤坂東野字芦ノ草在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

今年の夏、テレビや雑誌で見たのをきっかけに「モダン盆栽」を始めました。雑誌を参考にしながら育てています。

■これからチャレンジしてみたいことは何ですか？

何か熱中できることをしたいと思い、今年からランニングを始めました。毎日10キロ走っています。２、３年後に東京マラソンに出場して完走するのが夢です。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

１年を通して桜、新緑や紅葉など、季節の移り変わりを楽しめるところが好きです。あとは、鮫川村の人の優しさを感じます。お年寄りでも若い人でも、すれ違えばあいさつする環境はいいと思います。

■鮫川村に要望などはありますか？

鮫川村は風景がきれいで、食べ物がおいしい。ほかのまちに負けないものを持っていると思います。これをアピールしていけば、もっと人を呼べると思います。

■

次は蛭田康暉さん（渡瀬字福原在住）の予定です。

学校だより

（122）

鮫川中学校編

壇の岡祭大成功！

鮫川中学校の壇の岡祭を10月25日に行い、大樂村長はじめ多くのご来賓の皆様、保護者の皆様が参観しました。



午前中に意見文、英語弁論発表、合唱コンクール、１年生による奥州鮫川太鼓演奏などを、午後に各学年の総合学習などの発表を行いました。途中ハプニングもありましたが、３年生が活躍し、大いに盛り上がりました。

【合唱コンクール】▼最優秀賞…３年２組▼優秀賞…３年１組▼伴奏者賞…星龍太（３年２組）▼指揮者賞…藤田菜月（２年１組）

【ポスターコンクール】藤田恭佳（３年１組）

校内マラソン大会

10月17日、農業者トレーニングセンターをスタート・ゴールに男子約３キロ、女子約２キロのコースで校内マラソン大会を行いました。参加者全員が完走することができました。



【男子総合】①鈴木和之②生田目大輔③長久保拓仁

【女子総合】①岡部花歩②関根美可③湯座真代

初めての校内球技大会

生徒総会で生徒全員が楽しめる行事をしたいという要望が出されました。それを受けて11月６日、校内球技大会を行いました。ドッジボールで競い合い、学級の団結を深めました。



（文・写真／鮫川中学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

工業統計調査に協力してください

経済産業省は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、12月31日時点で「工業統計調査」を実施します。

この調査は、我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とし、調査結果は中小企業施策や地域振興など、国および地域行政施策のための基礎資料として活用されます。

調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご協力をお願いします。

問 村企画調整課企画振興係☎49-3115

個人事業者の消費税確定申告のため課税取引を区別

4月1日から消費税（地方消費税含む）の税率が8％になりました。

26年分（4月1日を含む課税期間）の消費税および地方消費税の確定申告書を作成するためには、帳簿などで課税取引を適用税率ごとに区分して集計する必要があります。

消費税法の改正内容については、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。

注意点 ▼課税取引に対する適用税率は、①3月31日以前は5％②4月1日以降は8％ですが、4月1日以降に行われる取引であっても、経過措置により5％が適用される場合があります。▼帳簿などでは、非課税取引などについても区分する必要があります。

問 白河税務署☎0248-22-7111

最低賃金14円引き上げ

福島県最低賃金が10月4日に改正され、これまでより14円引き上げられ時間額689円になりました。改正最低賃金については、年齢に関係なく、パートや学生アルバイトなどを含め、県内で働く全ての労働者に適用されます。

問 福島労働局労働基準部賃金室☎024-536-4604

地デジ難視対策工事の申し込みはお早めに

国が実施している地上デジタル放送難視対策の各種支援制度は、27年3月末で終了します。期限までに地デジ難視対策工事を完了するためには、遅くとも今月中の申し込みが必要です。特に積雪地域では、冬期間の工事ができませんので、早めに申し込んでください。

問 総務省地デジコールセンター☎0570-07-0101

歯の日 8日は

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

12月の担当は――

鮫川中学校
保健給食委員会

北條七海さん
藤田彩那さん
鈴木舜花さん
（写真左から）



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
村県民税：第5期
国民健康保険税：第7期
介護保険料：第7期
後期高齢者医療保険料：第5期
※納期限：12月25日(木)

information

募集

心の健康セミナー参加者

ストレスとの上手な付き合い方を学び、健康維持と自殺予防について考えましょう。参加は無料で、どなたでも参加できます。

日時 12月18日（木）午後1時30分～3時30分

場所 白河市立図書館「地域交流会議室」

演題 「ストレスをためずに、すこやかに生きるために」東北福祉大学福祉心理学科 渡部純夫教授

申し込み 12月10日（水）までに県南保健福祉事務所へ電話で申し込んでください。

問 県南保健福祉事務所障がい者支援チーム☎0248-22-5649

児童福祉月間ポスター図案

募集テーマ 児童福祉月間にふさわしい「子どもの健やかな成長への願い」を表現したもの

応募資格 福島県に住んでいる人（年齢や資格は問いません）。

応募規定 ▼A4サイズ以上で、文字が記入されていない平面のイラスト、絵画▼作品の裏面に次の6項目を記入してください。①住所②氏名（ふりがな）③年齢④性別⑤職業（学生の場合は学校名と学年）⑥電話番号

応募締め切り 27年1月16日（金）当日消印有効

応募先 県保健福祉部子育て支援課

問 県保健福祉部子育て支援課☎024-521-7198

放送大学4月入学生

放送大学はテレビなどの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。

出願期間 27年3月20日（金）まで

出願方法 放送大学福島学習センターに資料請求するか、放送大学ホームページから申し込んでください。

問 放送大学福島学習センター☎024-921-7471

相談

原子力損害賠償巡回法律相談

県は、原子力損害賠償請求手続きなどについて、弁護士による法律相談を開催します。相談は無料ですが、事前予約が必要です。不明な点など、気軽に相談してください。

日時 12月11日（木）午後1時30分～3時50分

場所 白河商工会議所2階「交流室」

対象者 原子力事故で損害を受けている個人または事業者

予約受付番号 024-523-1501（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）

問 県南地方振興局復興支援・地域連携室☎0248-23-1509

ツツガムシ病に注意してください

ツツガムシ病は、ツツガムシの幼虫に刺されることによって経皮感染する急性感染症です。人から人へは感染しません。ツツガムシ病を疑うような症状が出た場合は、早急に医療機関を受診してください。

症状 潜伏期間は5日から14日前後。初期症状は風邪に似ており、頭痛や倦怠感などがあります。その後、発熱（38～40度）、発疹（発熱から3日から5日後）、リンパ節腫大などの症状が現れます。注意深く探すと、かさぶたを伴ったツツガムシの刺し口があります。

予防方法 ①山、草地に入る場合や農作業を行う場合は、長袖、長ズボン、長靴やゴム手袋を着用し、肌の露出を避ける②衣類を草むらに置いたり、草むらに座ったり、寝転んだり、用便をしたりしない③虫除けスプレーを使用する④作業後は、入浴やシャワーなどをして着替える⑤着用した衣類は、放置せず洗濯する

問 県南保健福祉事務所感染症予防チーム☎0248-22-6405

12月4日から10日までは「人権週間」です

福島地方法務局および県人権擁護委員連合会は人権週間を中心に積極的な相談活動を行います。人権週間に限らず、電話相談を実施していますので、悩み事がある場合は下記に相談してください。相談は無料で、秘密は厳守します。

▶**みんなの人権110番**☎0570-003-110
▶**子どもの人権110番**☎0120-007-110
▶**女性の人権ホットライン**☎0570-070-810

問 福島地方法務局人権擁護課☎0570-003-110

December
12

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
2 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**3** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手・まめ・館」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**4** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●「すまいる」定休日	**5**	**6** ●お遊戯会［こ］
9 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**10** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●おはなしの森… 16:00～[図]	**11** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり保育室［こ］	**12** ●そば打ち体験講座… 10:00～[保]	**13**
16 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**17** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり乳児室［こ］	**18** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**19** ●心配ごと相談… 13:00 ～ 15:00[公] ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●フラワーアレンジメント講座…13:30～[公]	**20**
23 天皇誕生日 ㊡ 塙厚生病院（塙町） ☎43-1145 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**24** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日	**25** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●村県民税などの納期限	**26** ●役場仕事納め	**27**
30 ㊡ あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**31** ㊡つちやクリニック（塙町）☎43-2250 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「すまいる」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**1/1** 元日 ㊡ふじた循環器科内科クリニック（棚倉町）☎33-2013 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「手・まめ・館」定休日 ●「すまいる」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**2** ㊡金澤医院（矢祭町）☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「手・まめ・館」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**3** ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」定休日
6 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**7** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「手・まめ・館」定休日 ●「さぎり荘」定休日	**8** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●幼稚園、小・中学校始業式	**9** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**10**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

10月届け出分・敬称略



関根　光優（みゆ）・女
平26.9.18生
住所…土路部
保護者…靖・光知子

おくやみ

10月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
水口	関根　ミツ	9.30	104歳
火打石	佐藤ヨシノ	10.8	88歳
下	木之内　清	10.16	87歳
前沼	青戸　彦磨	10.19	83歳

人の動き

11/1現在・（　）は前月比

人口	**3,856**人	（－3）
男	**1,947**人	（－4）
女	**1,909**人	（＋1）
世帯	**1,167**戸	（±0）

寄付寄贈

10月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…関根由美子（荻ノ沢）　佐藤文夫(火打石)　木之内茂雄（下）　青戸正彦（前沼）　福島県民共済生活協同組合(穴澤正行理事長、福島市)

■**高齢者支援のために[金員]**…青戸正彦（前沼）

■**村長が認める事業のために[金員]**…大樂勝了（東京都）　大樂尚弘（宮城県）　大樂勝之（山形県）　大樂憲子（大塩）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■子どもたちに将来の夢を聞いていると、反対に質問されました。「夢は何？　お嫁さんになること？」。突然のことに驚き、考え込んでしまいました。私も子どものころは就きたい職業など夢がありましたが、いつの間にか夢について考えなくなっていました。子どもたちの言葉で気付かされました。■親子を取材したり子どもたちが遊ぶ姿を撮影したりする中で、その表情や態度から「幸せ」が伝わってきました。私自身、あらためて「子どもっていいな」と感じました。この特集で、出産や子育てに夢を持つ人がさらに増えればと思います。（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
	12/1 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●固定資産税などの納期限
7 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 第1日曜日は環境美化の日	8 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
14 ㊡東白川中央医院（棚倉町）☎33-3263 ●親子読書教室…10:00～[図]	15 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
21 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468	22 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●幼稚園、小・中学校終業式
28 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528	29 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
4 ㊡東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 ●「さぎり荘」定休日 ●消防団出初式 第1日曜日は環境美化の日	5 ●役場仕事始め

平成26年12月1日発行（毎月1日発行）
第728号（昭和27年9月創刊）

金婚を迎えた夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_14

星　一彌さん　邦子さん

赤坂西野字薮／1965（昭和40）年3月結婚

不思議な縁で結ばれたという一彌さんと邦子さん。「仲人の言葉を信じて一緒になったけど、初めは3日もたないと思った。それが50年」。互いに顔を見合わせて笑います。

当時は稲作、畜産、養蚕など、朝起きれば仕事の日々。一彌さんは出稼ぎもするなど、寝る間を惜しんで働き、その間、邦子さんが家を守りました。「お互いよく働いたな」と感慨深げに振り返ります。

現在は、「孫の成長が何よりの幸せ」とにっこり。金婚を祝って、お孫さんたちから寄せ書きが贈られました。「最高にうれしかった。これまでの苦労があって、今の幸せがある」。二人寄り添って、しみじみと寄せ書きを眺めました。

こちら 村長室

▼日本人の意識調査のために行っている国民性調査の結果が公表されました。長所については、「親切」が前回から19ポイント増加して71％、「勤勉」「礼儀正しい」がともに77％となり、いずれも過去最高でした。東日本大震災で東北地方の人たちの実直な対応を見聞きした結果が表れているのではないかという分析です。▼「大抵の人は他人の役に立とうとしているか、自分のことだけに気を配っているか」という質問では、「自分のことだけ」は9ポイント減少して42％で、同じ質問を始めた78年以降、初めて「他人の役に立とうとしている」が上回ったそうです。震災原発事故を通して「生きる意味」を考えさせられたのでしょうか。▼福島を含め東北地方の人たちの実直さが認められたようでうれしい気持ちになります。私たち一人一人が自分にできることで、復興に向かってさらに頑張っていきましょう。

大樂勝弘

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5